

令和 7年12月10日

釜石市議会議長
千葉 榮 様

公明党 山崎 長栄

会派視察調査報告書

当会派所属議員による視察調査を下記の通り実施しましたので報告致します。

1. 視察項目：1. 縁結び課の取り組みについて

日 時：令和7年11月21日（木）10：00～11：30

参加者：公明党 山崎長栄 細田孝子

相手方：兵庫県三木市

市議会議長 大眉 均

議会事務局長 公森 伸明

縁結び課長 成瀬 拓生

議会事務局議事調査係長 西山 修介

場 所：三木市役所 6階 委員会室

三木市は、古い歴史と自然に恵まれ、播磨国風土記には、億計、弘計2皇子の古代ロマンの物語が記されています。また、戦国時代には、東播8郡24万石を領した別所氏の居城があり、三木合戦によって荒廃した町は、豊臣秀吉の復興策によって商工業が活発化し、今日の金物産業の基礎をつくりました。三木市と、吉川町の合併により、名実ともに山田錦の主産地となり、三木金物ブランドも全国的に有名である。一方、市域内を中国および山陽自動車道が通過するなど、全国的にも交通の要衝として注目され、数多くのゴルフ場が立地するほか「三木ホースランドパーク」「山田錦の館」「吉川温泉よかたん」「ネスタリゾート神戸」など、観光資源も多彩なものがある。

人口は、73,656人（令和6年3月現在）、世帯数34,700世帯、面積176.51km²。

研 修 内 容：

1. 縁結び課の経緯について

平成13年に、みきハート・まちおこし実行委員会を設立する。平成20年11月、みきで愛（出会い）サポートセンターを設立する。平成28年3月三木市創生計画を策定。平成28年4月、ふるさと納税業務が縁結び課に。令和2年第2期三木市創生計画を策定。令和2年4月、地方創生業務が縁結び課に。

2. 縁結び課の業務内容

新たに総合戦略やインバウンド戦略の推進、公民連携に係る事務を担い、婚活支援、ふるさと納税、移住・定住の促進、空き家バンクなどとともに、地方創生に係る事務を一体的に進め「誇りを持って暮らせるまちみき」の実現を目指している。

今回の研修に於いては、縁結び事業（みきで愛サポートセンター）について学ぶ。

3. 縁結び事業（みきで愛サポートセンター）について

- ※ パーティ部門・・みきハート部会を平成13年に開始。年2～3回、パーティを行う。メール会員とホームページ、県のあいサポ募集。ボランティアは、7名程度。成婚者は13組。
- ※ お見合い部門・・サポーター部会を平成20に開始。登録者（相談者）同士がお見合いを行う。登録すると担当サポーター（ボランティア）が決まり一緒に活動する。お見合い前後のサポート、成婚まで相談にのるサポーターは21名。令和7年3月末現在の成婚者は137組。
- ※ 婚活応援団・・市内で開催する民間主催パーティの後援。広報や開催場所等のサポートを事務局が行っている。令和4年から活動が活発化してきている。

4. 他の自治体が行う婚活事業との大きな違い

- ① 第2の親的存在のサポーターがいる。
- ② ボランティア活動の中でもナンバーワンのやりがいがある。継続力に繋がっており、令和7年11月22日で設立17年目を迎える。
- ③ 単なるマッチングシステムでは無い。多くの自治体が力を入れているが、結局、結婚できる人だけへのフォローになっている。

5. 縁結び事業の課題について

- ① サポーターの高齢化等による次世代育成の検討。
- ② コロナ後の相談者の減少と高齢化。

所 感

- 多くの自治体に於いて、未婚者の解消に取り組んでいるが、目立った成果を上げられていない中で、兵庫県三木市は、縁結び課を誕生させ、行政が縁結び事業を行い成果を上げている。それには、サポーターの働きが大きく、現在18名（男性5名、女性13名）の出会いサポーターが活動している。令和6年の相談者新規登録数は、男性30名、女性33名となっている。令和元年には、相談者新規登録数は、男性59名、女性72名であった。この事業もさることながら、三木市担当者の熱意と出会いサポーターの懸命な努力が本事業の取り組みを大きく支えていると感じられた。



2. 視察項目：広島平和祈念資料館等の施設見学について

日 時：令和7年11月22日（土）9：30～14：00

参加者：公明党 山崎長栄 細田孝子

視察先：広島平和祈念資料館・原爆ドーム・平和記念公園

広島は、1589年、中国地方の戦国大名であった毛利輝元が、太田川河口の中州の一つに城を築き「広島」と命名し、以降、城下町として、また、交通や経済の中心地として発展してきた。明治時代には、軍事に関係した多くの施設が設置され、特に日清戦争、日露戦争では軍隊を海外へ送る為の基地になり、「軍都」として発展してきている。

1941年には、日本軍によるマレー半島上陸とハワイ真珠湾のアメリカ軍基地への攻撃により、アメリカ、イギリスなど連合国を相手にした太平洋戦争に突入した。この間、広島では、軍事施設の新設・拡充が行われるとともに、全国から集められた多くの兵士が海外に送られ、また、政府の命令により、工場では、戦争に必要なものをつくることとなる。

現在、平和記念公園になっている場所は、被爆前は中島地区と呼ばれ、広島市の中心的繁華街として賑わった街である。1945年8月6日午前8時15分、人類史上初の原子爆弾が投下され、広島市民のみならず、建物疎開作業等に従事していた多くの人々が非業の死をとげ、街並みも一瞬にして消え去ってしまった。

研修内容：

○ 本年は、第二次世界大戦終戦から80年を迎える。世界で初めて原子力爆弾を投下された広島市には、極めて悲惨な史実を残す平和祈念資料館、平和祈念公園、また、原爆ドームなどがあり、其の施設等を見学し平和の伝承についてを学ぶ。

広島平和祈念資料館の本館では、被爆者の遺品や被爆の惨状を示す写真、或いは絵などの資料が展示されていた。東館には、核兵器の危険性を伝える情報、被爆前後の広島市の歴史が展示されている他、被爆者の証言ビデオを自由に視聴できるコーナーがあった。また、常設展示以外には、「ヒロシマ 被爆者からの伝言」が上映されており視聴することが出来た。

所 感

○ 「戦争ほど悲惨なものはない。戦争ほど残酷なものはない」識者が述べられた言葉である。広島平和祈念資料館を訪れ、改めて、戦争は多くの人々に悲劇的な感情をもたらすものであることを理解するとともに、想像する以上の惨劇に、唯々、驚くばかりであった。太平洋戦争の末期、米軍の広島・長崎への原爆投下によって、日本の敗戦は決定的となる。あの戦争で数え切れない命の喪失があり、今なお、多くの国民に深い悲しみを与え続け、慟哭する姿さえ見られることを、国の指導者は勿論、私たちは決して忘れてはならないと深く心に誓う視察となった。

報告者 細田孝子・山崎長栄



「原爆死没者慰霊碑」



「国立広島原爆死没者追悼平和祈念館」



「平和の灯」



「原爆の子の像」



広島平和記念資料館から見える原爆死没者慰霊碑と原爆ドーム